

東正堂 ひがし せいだう 漢學者。萬延元年周防國生れ、昭和十年八月一日歿（二六〇一―一九三五）。辨信、のち敬、宇順浦、道稱敬治。別號南浦。十一歳の折、漢文一論ニ源頼朝一を叫したといふ。父の澤瀉敬で詩文、史學を學ぶ。一時廣島の吉村斐山に從學。また楠本端山、楠本碩水、僧五岳、藤澤南岳、谷口藍田、西嶺山、草場船山等と交はる。父の學を繼承し、陽明學を奉じた。

著書に『心券』（明治三十四年七月十七日王學會）、『藏春閣詩存稿』全二冊（大正十五年六月五日陽明學會）等。

